



# Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

## 評価報告書

— 平成 30 (2018) 年度 研修生受入事業 —  
(終了時評価—2019 年 4 月)

### 個別研修生受入 (一本釣り)

#### 研修生受入の概要

研修コース名	個別研修生受入
参加国及び参加人数	1 か国 4 名 (ミクロネシア連邦)
研修コース実施の経緯と背景	<p>我が国かつお・まぐろ漁業の重要な漁場である太平洋島嶼国では、自国のかつお・まぐろ資源を最大限に活用した経済発展を目指しており、その方策の一環として自国水域に入漁する外国漁船に自国民を乗船させ雇用拡大を図ろうとしている。</p> <p>本研修は、ミクロネシア連邦 (以下、「ミクロネシア」という。) との入漁協議において要望のあったかつお一本釣り漁船を対象としたミクロネシア人乗組員の育成を行うもので、研修生の「漁船乗組員としての資質」の向上及び「漁撈活動に従事するための基礎能力」の習得を図ることにより、当該国の沖合・遠洋漁業の振興に貢献するとともに、我が国との協力関係の維持・発展を図るため、短期間でそれぞれの課題に特化した基礎知識及び基礎技術の向上を図るため設定したコースである。</p> <p>なお、研修を修了した者は、将来的には日本漁船に就業の場を求め、乗組員不足に直面する我が国遠洋漁業の支援となることも期待される。</p>
研修期間及び研修場所	<p>2018 年 10 月 27 日～11 月 17 日 (22 日間)</p> <p>一般研修：10 月 29 日 (1 日間) (研修場所：海外漁業協力財団)</p> <p>技術研修：10 月 30 日～11 月 15 日 (17 日間) (研修場所：静岡県立漁業高等学園)</p>
上位目標	関係途上国の水産業における雇用が増大する。
研修目標	将来的に良質な部員クラスの漁船乗組員が育成される。
成果	かつお一本釣り漁業の基礎知識ならびに基礎技術が習得される。
活動	<p>技術研修</p> <p>実習：ロープワーク、竿作り、釣り込み、一本釣り漁法等</p> <p>座学：日本語基礎会話、日本文化等</p> <p>見学：水産関連施設等</p>

投 入	財団側
	1)一般研修 人的投入（研修監理員）：1名 物的投入（研修資材等）：研修備品等  2)技術研修 人的投入（指導員・研修監理員）：常時1名以上 物的投入（研修資材等）：日本語テキスト、一本釣り漁具関連資材等 （竿、ロープ等）  3)事業費 2百万円
	受入対象国側 投入なし

## 評 価 事 項

### ◆ 妥 当 性

#### 1. 研修実施計画は相手国のニーズに合致していたか

ミクロネシアは、かつお・まぐろ漁業の開発振興を国の重要な政策としている。また、国内に就業の場が少ない若年層の雇用促進策の一環として、我が国遠洋漁船への乗り組みを推し進めている。

本研修は、かつお一本釣り漁船を対象とした部員クラスの漁船乗組員の育成を目標としており、ミクロネシア政府の漁業振興政策及び若年層雇用促進施策を人材育成の面から支援するもので、相手国のニーズに合致していた。

#### 2. 研修実施計画の妥当性（一般研修・技術研修）

研修実施計画の内容は、一本釣り漁船の甲板部員に必要な基礎的な知識及び漁撈技術を習得させるものであり、日本語基礎講座、一本釣り漁船・操業概要、漁撈実習等、広角的な研修内容とし、実施計画は妥当であった。

#### 3. 研修実施計画は、一般研修期間及び技術研修期間中の研修生活の実態を考慮して作成されたか

指導員、研修監理員等を適切に配置する等、日常生活を考慮して実施計画が作成された。

#### 4. その他

特になし。

### ◆ 効 率 性

1. 講師、研修施設、研修資機材等は計画通りに投入され、期待される成果を上げたか

研修では、静岡県立漁業高等学園において、日本語基礎講座及び一本釣り漁業の経験豊富な指導員を配置した。

これら指導員の配置に加え、研修教材及び資材並びに使用される施設等は計画通りに投入され、期待される成果を上げた。

2. 研修内容、水準、技術指導方法は適切に実施されていたか

各カリキュラムの研修日数、内容、水準及び指導方法は、日本側関係者と受入機関との調整を踏まえ、適切に計画され、実施された。

3. その他（研修の効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

---

◆ 有効性

1. 研修目標の達成度

研修目標：良質な部員クラスの漁船乗組員が育成される

技術研修における、日本語基礎講座、漁撈実習を通じて、一本釣り漁船の部員クラスの乗組員としての基礎知識と基礎技術は習得されたと判断され、研修目標は達成された。

2. その他（研修生の研修意欲・研修満足度等及び職場における社会・文化、制度上の環境等外部要因が、研修目標の達成に与えた影響等）

特になし。

---

◆ インパクト

1. 上位目標の達成に対する研修目標の達成の効果は、どの程度見込まれるか

研修目標である部員クラスの漁船乗組員の育成が達成され、ミクロネシアの沖合・遠洋漁船に人材が供給されることにより、将来的に上位目標である関係途上国（ミクロネシア）の水産業における雇用の増大に対して大きなインパクトを与えることができる。

2. 研修事業は、政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果又は負の影響が見込まれるか

ミクロネシアにとって、一本釣り漁船員が育成されることは、一本釣り漁船への

雇用機会が増えるとともに、同国の水産振興に必要な人材の育成・確保に対する効果が見込まれる。

3. その他（計画当初予見できなかった効果又は負の影響が見込まれるか等）  
特になし。

---

## ◆ 持続性

---

1. 研修生は帰国後、研修の成果を有効に活用している（できる見込み）か  
研修修了者には、2019年度にかつお一本釣り漁船での乗船研修が予定されており、さらに知識、技術をブラッシュアップすることにより、自国あるいは我が国一本釣り漁船への乗り組みが実現すれば、習得された漁撈技術は有効に活用できる見込みである。
2. その他（相手国及び研修生の自立発展に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）  
特になし。

以上